

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】 / (分野)		授業形式						
E111B019		特別活動の指導法 (Methodology for Extra-Curricular)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
必修	2	3	教育学部 ≪令和2年度 以降入学生用 ≫	前期		日本語			単独						
担当教員	氏名 長谷川 祐介														
	E-mail yhasegawa@oita-u.ac.jp 内線 7541														
授業の概要	教育課程における特別活動の位置づけを理解したうえで、特別活動の目標や各内容の機能、課題について理解する。受講生同士による意見交換等や模擬授業の実践を通して、特別活動を実践的に指導する上で必要となる実践方法を受講生が主体的に考え、理解することを目指す。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 教育課程の意義、目標を理解できる。										○	○				
目標2 学級活動、児童会活動(生徒会活動)、学校行事、クラブ活動それぞれについて、学校教育における機能と課題を理解できる。							○		○	○	○				
目標3 学級活動の模擬授業を通して学校教員として必要となる特別活動に関する実践的指導力の基礎を理解できる。									○	○					
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
							各DPへの関連度(計10)		2	3	4	1			
授業の内容															
1 特別活動とは何か? : 集団活動を特質とした教育活動															
2 教育課程における特別活動の位置づけ : 教科等との違いと関連															
3 特別活動の目標(1) : 特別活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点															
4 特別活動の目標(2) : 集団や社会の形成者としての見方・考え方、自主的実践的態度の育成															
5 特別活動の基本的な性格と教育活動全体における意義															
6 学級経営と特別活動															
7 学級活動(1) : 合意形成に向けた話し合い活動のあり方															
8 学級活動(2)(3) : 意志決定につながる指導のあり方															
9 児童会・生徒会活動、クラブ活動 : 内容と特質															
10 学校行事 : 内容と特質															
11 学級活動(1)の実際															
12 学級活動(2)(3)の実際															
13 特別活動における家庭・地域住民と関係機関との連携															
14 教育課程全体で取り組む特別活動の指導のあり方・特別活動の評価															
15 学級活動の模擬授業															
ラ イ ク ニ テ ィ グ ラ フ	A:知識の定着・確認		○	学生のコメントペーパーへのリプライ、ディスカッション、模擬授業の指導案作成、模擬授業の実施					工 夫 そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向		○												
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		教科書等の情報を必要に応じて予習する(15.5h)。指導案の作成(5h)。模擬授業の実施に向けた練習(2h)。												
	事後学修		教科書や参考書、授業資料等を用いて復習する(17.5h)。授業で作成した模擬授業の指導案の修正(3h)。模擬授業の振り返り(2h)。												
	想定時間合計		45												
教科書	小学校学習指導要領解説特別活動編(平成29年6月 文部科学省)(URL:https://www.mext.go.jp/content/20221213-mxt_kyoiku02-100002607_014.pdf) 中学校学習指導要領解説特別活動編(平成29年7月 文部科学省)(URL:https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_013.pdf)														
参考書	文部科学省(2018)『特別活動指導資料 みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編)』(URL:https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/tokkatsu_h301220-01.pdf) 文部科学省(2023)『中学校・高等学校 特別活動指導資料』(URL:https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/tokkatsu_j-h_leafb1.pdf)														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題レポート		40%	○	○	○							
	授業時のコメントペーパー		60%	○	○	○							
注意事項	授業中、よりよい環境で学習できるよう心がけること。												
備考													
リンク													
	URL												